

第6回 大門まちづくり共創会議 議事録

日時：令和8年4月17日（金）18時00分～20時00分

場所：塩尻市市民交流センターえんぱーく 多目的ホール

次第：①開会 あいさつ【(株)しおじり街元気カンパニー】

②共創会議の役割について【事務局】

③自己紹介

④ディスカッション

・街の活動お悩みシェア

・街でやれることを探ろう

⑤アンケート記入 閉会

⑥名刺交換など交流時間

-----以下 自己紹介内容-----

参加者 A：市内で建築設計事務所を経営し、空き家・空き店舗の改修をしている。大門は小さいころから遊び場。大門の中がよい街になればいいと思っている。まちづくりの委員会にも入っていた。若い人たちと、どのようにまちづくりをしていけばいいのかに興味がある。

参加者 B：株式会社 e-yo を経営し、塩尻青年会議所の理事長もしている。玄蕃まつりの話をしたい方が参加すると聞き、気になったので来た。昨年、共創会議で出会った団子のいろはさんと大門マルシェでコラボが実現した。ここでしか出会えなかっただろう人とコラボできたらうれしい。

参加者 C：都市大塩尻高校の教員。生徒と地域のみなさんで何かできれば。

参加者 D：五番町に住んで30年。今はパートで働いている。大門でドリンクスタンドを立ち上げたくてスナバで勉強中。この場で知恵や出会いをもらえるとうれしい。

参加者 E：田川高校の教員。松本の街中に住んでいる。塩尻は車も渋滞が少なくスムーズでよいが、何かが足りないような気がする。

参加者 F：塩尻志学館高校の教員。共創会議に都市大塩尻と田川と塩尻志学館がそろった。生徒がどうかかわっていくか楽しみ。

参加者 G：大門でミミー商店を経営。ミミー商店は移転するが、塩尻を離れるわけではなく大門ではまた新しいことに挑戦する。

参加者 H：商工会議所職員で玄蕃まつりを担当することになった。今回は玄蕃まつりの話が出るということだったので、活かしていきたい。

参加者 I：創業122年の「いちた」を経営。商売をしていて感じることはたくさんある。街ゼミ（シリゼミ）として講座を開いて、商店街の店舗の魅力を感じてもらおう活動をしている。店長マップも第2弾まで作った。マップを作って感じたことを共有して、みんなでもマップを作りたい。

参加者 J：スナバの運営メンバー。HATTABA 立ち上げにも関わっている。スナバのメンバーもだんだん大門でのかかわりが深まっていると感じる。高校生の起業家プログラムもやっており、高校生や

大学生とまちづくりをやっていききたい。

参加者 K: 中部電力で勤務。市町村を回って課題を見つけ、マッチングさせる「地域共生部」という部署にいる。五番町にある会社で、たった一人の部署で働いていてさみしく、街のみなさんの話を聞きたい。

参加者 L: 洗馬の金属加工会社に勤務。郷原に住んでいる。妻が塩尻出身で 8 年くらい前に移住してきた。塩尻は住んでみて楽しいまち。深く詳しく知らないなので、知りたい。意見があるわけではないが、何かやってみたい、携わりたいと思い参加した。

参加者 M: 大門育ち。市役所に入り、そのあと市議会議員になって 3 期目。気になっていることのひとつが大門商店街。年々さみしくなっている。子どもの頃のにぎやかさを復活させたい。箱ものだけではなくてソフト面も含めたことが必要と思う。ご意見を聞きながら考え方を固めたい。自分の持つ縁を活用してもらいたい。

参加者 N: スナバの立ち上げに関わったことをきっかけに 6 年前に移住してきた。現在は起業家教育サポートや HATTABA の立ち上げに向けて動いている。HATTABA では飲食と宿、オフィスをまとめた建物を作りたい。個人的には二番町に住んでいるので、大門で何が起きているのか、まちづくりのピースとして関われることはあるのか知りたくて参加している。

参加者 O: 昨年 8 月にゲストハウスを開業。移住 7 年目。周囲に住んでいる市民、街が元気になったらいいなと思い、ゲストハウスでイベントをやっている。KICHI にはポッドキャストのスタジオもある。KICHI を舞台に何かできるきっかけが共創会議で生まれるのではないかと期待がある。

参加者 P: 塩尻東在住。今ある資源を利用し、昭和の頃の商店街のにぎわいを取り戻したい。今は活かされていないような気がする。歩きたくなる街や、買い物したくなる街を作れたらいいな。

参加者 Q: 塩尻暮らしを始めて 2 年。MEGURU や IT 関係の仕事をしている。木曽平沢・贄川で 1 年以上暮らしており、木曽漆器の青年部やまちなみプロジェクトなどに入っている。ただどこに行っても似たような顔ぶれが組織を回していて、担い手不足・閉塞を感じる。大門を上手に使って櫓川の問題も解決できたらと思う。

参加者 R: 街に出る学生を増やしたり、市外から塩尻に関わりたいという人を作ったりする活動をしている。そのフィールドとして大門を使えたら。運営しているシェアハウス兼ゲストハウス「en.to」で、地元の三番町の人とも関係性を築いている。最近は街のイベントや公民館の事業も en.to でしている。地域でやってきていたことを新しい人たちと一緒に続けていけるといいな。大門の街歩きなどを企画して、「昔はここに何があった」などを地元の人に聞くのも良いなと思っている。

参加者 S: 大学で東京へ出て、社会人になって地元の大門に帰ってきたらスナバができていたり、いろんな人が来ていたりしている。昨年は商店街×高校生をメインに動いていた。実際やってみるとすでに活動している人たちがいることを知れた。その人たちとどう組み合わせていけるのか、自分のやれることは何なのかというところで立ち止まってしまった。今日はゼロベースで話を聞いていけたら。

参加者 T: 商工会議所からの紹介で初めて参加する。もともとは贄川に興味があり、いろいろ関わってきた。5 月中頃から塩尻で働くことになっている。玄蕃まつりが好きで玄蕃之丞の絵本や御朱

印を作っている。

参加者 U:就職を機に、2年前松本から塩尻に来了。そこで玄蕃之丞を知り、心をつかまれた。玄蕃まつりでもっと玄蕃の色を出したい。

参加者 V:大門商店街で商売をしており、これからも続けていくつもりでいる。みなさんと共栄していきたい。

参加者 W:自分は松本大学の学生。12月に塩尻市で法人登記をし、塩尻市外の大学生や若者のプレイヤーを集めていく事業をしようとしている。松本でも大学生や高校生が出るマルシェをやったり、大門マルシェとコラボしてコーディネートしたりも考えている。塩尻をもっと大学生が集える街にしていきたい。

-----以下 ディスカッション内容-----

※ファシリテーションは、全国再開発協会が担当

ファシリ:すでにいろんな取り組みをしている人で、何か困っている・行き詰まっているなど何か課題抱えている人はいるか。

(玄蕃まつりについて)

参加者 T・U:御朱印を作ろうと、玄蕃さまが祠の上にどっしりと座っている絵を描いてもらった。印鑑は龍門堂で彫ってもらった。御朱印の文字を書いてもらう人は決まっていない。玄蕃まつりにおととしと去年参加したときに、もっと玄蕃之丞の色を出したらよいのではと思った。

参加者 U:朝日村の祭りは玄蕃の彼女の祭で、狐をととても推している。玄蕃のまつりでは全然推されていない。もう少し押し出してほしい。

参加者 T:祭りとしては楽しい。でも「玄蕃」の祭りかと言われたら「玄蕃色」は感じられなかった。もっと民話になぞらえたイベントにしたらよいのではと思う。龍門堂と相談してキツネで獅子舞を作れないかと考えていたが、漆を塗らずに獅子舞の形を作るだけで300万かかると言われた。

ファシリ:具体的に困っていることはあるか。

参加者 T・U:御朱印の文字を書いてくれる人を探している。今まで御朱印もなかった。広丘あたりを担当している神主さんとか、高校生の書道部とかと思っている。何をどこから始めたらいいのかわからない。

参加者 C:都市大塩尻高校には書道部があるので頼めば何とかやってくれるかもしれない。

参加者 B:青年会議所がまつりの昼の部を持っていて、お化け屋敷などの企画をしている。担当の委員会があるので、一度話してもらうのがいいかも。いきなり全部を変えるのは難しい。ステップが必要。どうできるか情報交換できれば。

(自作マップについて)

参加者 I:昨年に「店長マップ」を作った。塩尻は人を集めるまちではない。うちは着物とジュエリー

の店。ロコミとか紹介で塩尻以外のところからも来てくれる。県外に行った同級生なども寄ってくれる。でもせっかく塩尻に来る用事があるのに、店に来てすぐに帰ってしまう。「行きたいけど遠いんだよね。わざわざ店に寄るだけの用事のために行くのはちょっと…」と言われることもある。リピーターを増やすにはうちの店だけではどうしても弱い。だから他のお店の力を借りようと思った。地図を手書きして他のお店を教えていたが、インパクトがない。個人的に SNS でおすすめのお店を公開していたら連絡がくるようになり、マップを作ることに。

作ってみると、塩尻はお店が意外とあるとわかった。イオンモールは人が集まる。塩尻には大きい商業施設がないから、街全体がモールみたいになればいい。そのためにはなおさら視覚的なものの必要性を感じた。マップ作りでは、どこのお店を載せるかが問題になる。みんなで考えて、みんなが必要だと思うマップを作ることが必要。私は自分のお店に来てもらうためにマップを作ったが、みんなも自分のために作っていけば、それがまちづくりになるのでは。共創会議のように想いを持っている人が集まる機会があるので、化学反応が起きていろいろできれば良いな。必要のある人が使ってもらえればと思って作ったので、いろんなところで配ってもらうのが理想。

ファシリ: 街カンでできる支援はあるか。

事務局: 補助金で印刷の手伝いはできる。部数があれば広がりも生まれるはず。

参加者 Q: 店長とはよく話すのに、悩みや考えていることを知らなかった。

参加者 G・参加者 B: うちの店でも置けるのでぜひ。

ファシリ: それぞれのお店が自分でマップを作ったらいいのでは? それをいっぱい置いてもいいかも。お互いにお店の紹介をしあうとかできたら面白い。

(HATTBA の立ち上げについて)

参加者 J: HATTBA という施設の立ち上げを今やっている。HATTBA は駅とえんぱーくの間くらい場所。そっちでも活動しやすくなるような支援メニューが出てくるといいな。HATTABA ができる通りにも可能性がある。歩道と車道がフルフラット。山賊など飲食店も多い。ふらふら歩いて楽しくなるような通りにしたい。

ファシリ: 通りの演出に関して意見がある人いるか。いい街は綺麗。デザインなどだけではなくてゴミが落ちていないとか。今マイナスなものがあれば、それをゼロに戻す活動も大事。そもそも現状マイナスな面が無いか見てほしい。それを解消するだけでもいい。通りの演出はみんなで連携してできないかな。

再開発協会: 塩尻にベンチを作りたいと思っている。去年の(共創会議の)活動でベンチをどこに置いたらいいかを探すために街を歩いた。ベンチはあるんだけど、座りたくなるベンチかというと、そうではなかった。

幼稚園の前にベンチを置きたい。素敵で可愛い黄色いベンチ。汚れたベンチが並んでいる街はたぶん行きたくない。きれいな場所だと汚くしようと思わない。

2カ所にいすを置きたい。HATTABA のできるフルフラットな通りに白いベンチがあったら座りたくなるのでは。ちゃんと座りたくなるように、お店の人と連携してきれいさを保たたいすを置いておく。ベ

ンチ誰か一緒に作製する人がいないかなって思っている。

参加者 J: 横浜で設計をやっていた時、毎年ベンチのコンテストがあった。若手のデザイナーとか学生がデザインして出す。そのアイデアを地元の工務店が作ってくれる。塩尻松本にも工業高校とか建築の勉強をしている若い人がいれば、アイデアを出すのでは。作る前に街を見るので、その時に店長の地図を片手に街歩きをできれば。そこから塩尻に何があったらいいっていう絵だけでも出てきたら、えんぱーくに絵を貼って展示したり、審査したり、実際に作ったりという仕組みができれば。

再開発協会: 長野は森がたくさんあるけど、林業は盛ん？盛んなら地元の企業に協力してもらって、間伐材を使って、ベンチをつくることはできないのかなと思った。

参加者 K: 木のベンチという話があったが、松本城に行くところ（大手門に向かう信号）の端に松本市が木のベンチを作った。デザイナーに頼んで作ってもらったものがポツンとある。それが素晴らしいベンチ。おそらく松本市はこのタイプのベンチを増やしていく。ぜひ見てほしい。

参加者 P: 商店街にえんぱーくとウイングロードを結ぶアーチ（連絡通路）がある。そこを壁画・マッピングみたいにはできないか。Core 塩尻みたいなものを増やしたり、山雅のサッカーの中継画面をえんぱーくの壁面などに映したりしたら人が来るのでは。

参加者 Q: 海外のデザイン会社では、新入社員で集まって1年に1回インテリアを作るというプロジェクトをやっている。同じようにスナバとかエヌイチ道場でインテリアを作るのはどうか。毎年一個ずつ街の中のインテリアが増えていくみたいな取り組みができたらいいなど。

（駄菓子屋・大門マルシェについて）

参加者 B: えんぱーくで駄菓子屋をやっているが、人通りが少ない。一個のお店が成り立っていくのに難しさを感じる。ただそこが開いているのは大事だし、小学生のたまり場にもなっている。これからチャレンジショップをやるのかを考えている。週1、2時間くらいのお留守番ならしてもいいかなって思う人がいるのではと思っている。シニア世代や、子どもを連れて行ってもいいのならという親、社会と接点は持ちたいけど全部働くモードはちょっとという人など。

また、みなさんに大門マルシェについて意見を聞きたい。始めた頃の頃は7店舗くらいだったが、今は60~80店舗。えんぱーくピクニックと同時開催で、街カンと行政の支援を受けて歩行者天国にしている。この規模で毎月開催はわけが違うかもと思っている。交通も止まるし、イベントをするとごみの問題などもある。毎月大門商店街で開催することがいいことなのかわからなくなった。

参加者 V: 商店街でお店をしているので、まちの雰囲気は毎日見ている。大門マルシェが月1で開催されることにメリットしか感じていない。普段はさみしくて、誰かが明るくしてくれていることに価値がある。マルシェのときはいつも来ない客層の方も来店してくれる。通行止めに関して実際に困っている声があったのか。

参加者 B: 直接的にはないが、ゼロではないはず。

参加者 V: 強いというなら、ウイングロードの駐車場が満車になっていつも来るお客さんが困ることはあるかも。でもそれよりも商店街に来たことが無い人が来てくれて、お店を見て回ってくれるということの感謝が大きい。

参加者 O: 宿をやっている。マルシェのときに、「ここは何だ」と思ってもらえるだけでプラス。歩行者天国の部分には面していないがそれでもありがたい。飲食店や商売をやっている人に話を聞いてみるとよいかも。

参加者 S: 交通規制の誘導員のすぐ後ろ(両端)に、キッチンカーが背を向けて出店をしている。何をやっているのか、道路を通った人にはよくわからないかもしれない。「大門マルシェ」ということが迂回する車にもわかるようにしたらいいのでは。「何かお昼あるかな、買って行こう」となればいい。「大門マルシェ」の看板を立てるとか。中で何をやっているのかが見える形で店を配置できるといいのでは。

月 1 開催について。商店街の人と話していて、「大門マルシェ」が共通言語になっていると感じる。周りの人の話を聞いている限り、クレームが入っている話は聞いたことはない。イベントなどをやれば当然いいこと悪いことがどちらも発生するけれど、ごり押しでもこのままやってほしいな、というのが商店街で商売している者の感想。たしかに、飲食店からの声っていうのは気になったところ。話を聞いてみたい。

参加者 B: 去年からやりたいと言っている商店街組合関係の再生の話にも手を付けられていない。これまでは大門マルシェは任意団体としてやっていたのだが、株式会社にしてしまったことで、営利目的なのは、みたいな見られ方をして少し問題が出てきているのか。商店街組合と連携するなどすれば、もう少し公共的な意味合いで受け取ってもらえるかも。組合を通すことで、お店の人と話す機会を作ったり、組合に入っている人は出店料を取らずに出てもらえるようにしたり考えたい。

ファシリ: 株式会社にしてしまうことにはリスクもかなりある。慎重にやっていってもらえれば。

(高校生との協働について)

参加者 S: MEGURU とかエヌイチ道場とか、高校生と地域を繋げる団体がすでにある。昨年“共創会議 A チーム”という単位で動くのはやりづらかった。スナバの岩井さんと話をして、一緒にできないのかとか仕組みを体系化して、土台ができたらいいなと考えていた。その翌日に都市大の菊池先生から、ほぼ同じ構図のものを都市大で考えているという話を聞いた。自分がどう関われるかまだわからないがもうすでにあるものをどういう方向に導いていくのか、自分はどうそこに携われるのか考えている。

参加者 C: 都市大では「探究」という授業がある。自分たちの興味関心と社会をつなげて、自分なりに課題を考え仮説を立てて実験をして分析して、考察するという感じ。探究の課題を街のみなさんにももらえないか、と思い今日は参加した。今年度から1年生約300人が探究に取り組む。中には自分が何をしたらいいかわからない、という生徒もいる。「高校生とこれだったらできそう」など何か課題をもらえると、テーマを決められない生徒にそれを投げかけられる。地域の人と協力したい。

参加者 O: 探究の課題を探すというのを課題にするのは。探究のテーマを探すというのはすごく難しそう。「新学期だから考えろ」はそりゃ難しい。それを探すの自体が探究になるのでは。

ポッドキャスト部があれば面白いと個人的に思っている。放送部みたいな感じで。ポッドキャストというタスクあれば探究を探している生徒の行動のきっかけになるかも。

高野 GM:探究という言葉の中に、街の困りごとのお手伝いみたいなものは含まれているか。

参加者 C:構わない。高校生だからできないこともあるが、高校生だからできることを探せと言って
いる。附属の大学が東京にある。大学の先生も巻き込めないかと考えている。東京都市大学はまち
づくりが強い大学。投げかけてみたところ大学の先生もやってみたいという反応。お金は研究のテー
マになりそうだったら科研費をとるとのこと。高校生でやっていくが、困ったら大学も頼れる体制にな
ってきた。街の困りごとからなんでもできるかなと思うので便利屋として使ってもらえたら。

参加者 E:田川高校は生徒があまり集まらず、2033 年度に志学館と統合されることになった。校
舎は志学館の方になる。生徒に週末どこに行くかと聞くと松本のイオンモールとかディズニーとか。
ただテストの際にはえんぱーくで勉強している子もいる。以前塩尻志学館高校に勤めたときはシク
ラメンをリヤカーに乗せて運んだり、ワインを作ったりして街と接点が多かった。今はそうではない。塩
尻市のみなさんがどういう高校生を育ててほしいというのがあれば聞きたい。

参加者 F:3高校で集まって話す機会があったときにも、探究が話題になった。去年マルシェで生
徒が発表とか販売をやった。せっかくだからあれを3校でやりたい。ぜひ大門商店街を活性化する
のに、高校生を関わらせられないか。「学生のまち」みたいにできれば。今後も大門マルシェとかに
関わっていきたい。軽音部は1年生が22人も入った。呼んでくれればまたあそこでやれる。

ファシリ:共創会議のオープンチャットができた。そこでみなさん反応してもらえたら。

事務局:会議後もせっかくのつながりを切らさないために LINE オープンチャットを開設した。「こ
んな人探してます」「こんなことで困ってます」など自由に発言して活用してもらえたら。